

## 2 個別事業評価調書

団体名: 笠置町

<b>事業名</b>		情報通信機器改修事業					
<b>事業の概要</b>		現在職員が使用しているパソコンのメールサーバーの改修、スケジュール管理システムの導入及び周辺備品の整備を図りました。					
		<b>事業期間</b>	平成21年4月1日～平成22年2月15日				
		<b>総事業費</b>	3,473千円	<b>本年度事業費</b>	3,473千円	<b>交付金交付額</b>	1,868千円
<b>事業評価</b>	<b>事業の必要性</b>	現在、京都府や振興局をはじめとする文書のやりとりをメールによって行っていますが、メールサーバーの能力不足が指摘されていました。メールの中には容量の大きいものが多々あることから改修を実施する必要がありました。また、職員間のスケジュール管理を行うシステムがないために、電話対応等に時間を要することになっていました。					
	<b>事業の有効性</b>	小規模自治体として少人数の職員体制のため、電話対応等においては、他課の職員のスケジュールの確認を要することもあります。そのため、スケジュール管理システムを導入することで、このようなケースに柔軟に対応することが可能となります。					
	<b>事業の効率性</b>						
	<b>具体的な成果</b>	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
<b>6 その他の成果</b>		当該事業の実施により、メールの送受信能力が高まり、日常業務の効率性・安定性が高まりました。また、スケジュール管理をシステムで行うこととすることで、職員自らの会議等の確認や、職員間の連絡・スケジュールの把握が容易となり、対応の即時性が高まりました。					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。